

第5回鎌倉駅西口駅前広場整備に関するアドバイザー会議議事概要

1	日 時	平成30年8月9日(木) 10:00~12:00
2	場 所	鎌倉市役所第3分庁舎1階講堂(鎌倉市御成町18-10)
3	出 席 者	<p>アドバイザー：大木先生(株式会社オクトプランニング&デザイン代表取締役) 志村先生(東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授) 福岡先生(東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授)</p> <p>鎌倉市(事務局)：まちづくり計画部 宇高次長兼駅周辺整備課長 駅周辺整備課駅周辺整備担当 樋口係長、大江係長 加藤職員、中山職員</p>
4	議 題	<p>(1) 実施設計における整備方針 (2) 諸施設の配置や仕様について (3) 占有物の配置について</p>
5	議事要旨	<p>鎌倉駅西口駅前広場について、資料をもとに説明を行いました。主な意見は次のとおり。</p> <p>○ 実施設計(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の考え方は整理されて、良くなった。 ・地下道から広場への入口部分が少し開放的に計画されすぎているのではないかと感じる。通り抜けが多くなるように開放部を狭めてはどうか。 ・広場と言っている空間と、動的な空間の境目だが、駅から降りてきてこの広場を右に見ながら地下道に入っていく時に、境目にある照明装置等が、飛び出ている印象を受ける。利用者の障害にならないよう、もう少し滑らかに処理できるのではないかと感じる。 ・時計塔の北側が狭いのではないかと感じる。可能であれば時計塔の基壇部分を小さくして、植栽帯が20センチでも広がれば、広場がオープンになりもっと良くなるのではないかと感じる。 ・擁壁沿いに壁面緑化を行うことより、低木等を植えた方が、時計塔周辺の連続ベンチに座った際に緑に囲まれて落ち着いた雰囲気が出せるのではないかと感じる。 <p>○ 諸施設の配置や仕様について (舗装等について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装の色は、彩度が低めのものを選定した方が良い。 ・コンクリート平板で舗装をする場合は、石に近いような雰囲気を目指すのであれば、正面に少し溝が入っているようなものも選択肢としてある。同色の普通の平板と比べても風格が違ってみえてくる。 ・広場内の色はあまり増やさない方が良い。3種類位で、素材の仕上げ等を変えて造作した方が良い。

		<ul style="list-style-type: none"> ・歩く部分と滞留する広場部分の線引きだが、滞留する広場部分を示す線はもう少し広げてはどうか。 <p>(照明計画について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計塔のライトアップは、鎌倉としては新しいと感じる。抑え目に照らす程度で良いとも思えるが、逆に、市民の意識を変えていく可能性もあるかもしれない。 ・奥と手前を照らしていく考えで、照度を検討しながら、できるだけ照明用のポール等のたちあがりの数は減らしたほうがよい。 ・ライトアップを行うのであれば、コストや管理面など、市として説明責任が果たせるように考えた方がよい。 <p>(植栽計画について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽の全体計画について、コンセプトがほしい。鎌倉駅西口に降り立ったときに鎌倉らしい植栽を感じるつくりにしてほしいと思う。 <p>(ベンチ等のファニチャー類について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続ベンチについては、既製品ではなく低コストな現場打ちのコンクリートであっても、座面を柔らかい形で曲線的な形状に仕上げれば魅力的になる。 ・日影と植栽計画の関係について、中高木の植樹など、日射に対して配慮がきちんとされた計画になっているか、さらに検討が必要である。 <p>○ 占有物の配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市観光案内図の位置は、このままではクスノキ周りの連続ベンチが、ベンチとして機能しなくなる。位置の再考をした方がよい。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場を整備するだけでなく、整備後の広場の使われ方について、公共空間をどのように使わせていくのか、色々な自治体が行っていることも参考に、市民と一緒に考えていくことが鎌倉市への宿題だと考えている。
--	--	--